

問題解決の力をはぐくむ総合的な学習の時間についての理論研究

1 総合的な学習の時間に培う問題解決の力の分析

「総合的な学習の時間に培う問題解決の力」を次のように構想した。



図1 総合的な学習の時間に培う問題解決の力の構想図

2 学習活動の位置付け

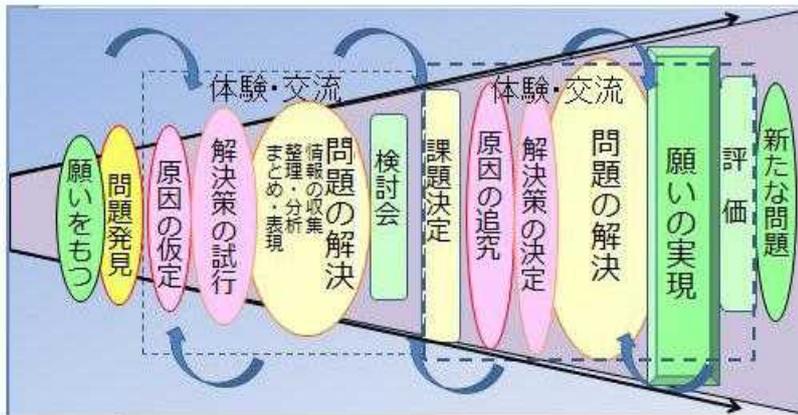


図2 問題解決学習の構想図

1で構想した学習活動を、問題解決の力をはぐくむために必要なステップとして取り出し、J. デューイ (John Dewey) の反省的思考「疑問や困惑に端を発し、探究の過程をくぐり抜けて解決策を生み出していく思考」(新教育学大辞典 pp. 382) の考え方に沿うように系列した。

3 本研究の視点

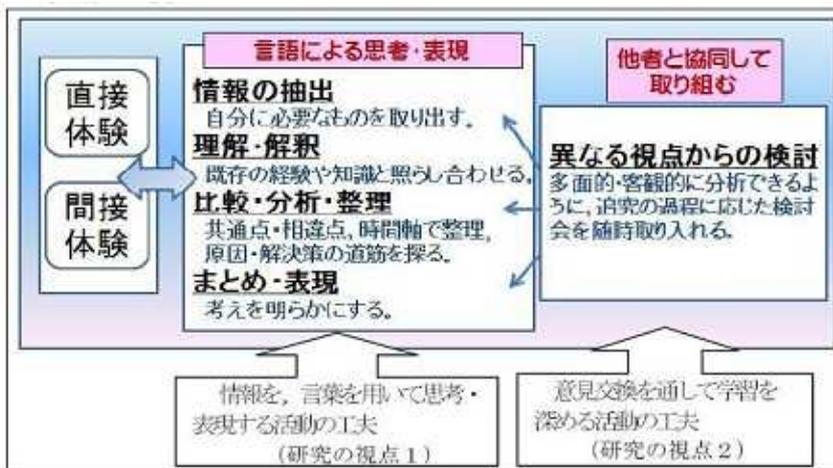


図3 本研究の視点

本研究では、問題解決学習の過程で、言語の活用を重視した学習活動の充実を図ることを通して、解決の道筋を明らかにしながら自ら追究する力や、思いや願いを実現していく力をはぐくみたいと考えた。

体験後の気づきや考えを言語化して確かなものにしたたり、活動後の意見交流を通してさらに深く追究したりすることができるよう、研究の視点を左の図3のように、設定した。